

# 中信地区特別支援学校再編整備計画（案）について

## 特別支援教育課

長野県特別支援教育連携協議会の検討結果を受け、保護者はじめ学校関係者や校長会など各方面からの意見を踏まえ、「中信地区特別支援学校再編整備計画（案）」を作成しました。

今後、パブリックコメントや地域への説明会等を行い、寄せられた意見を計画に反映させます。

### 【計画案の概要】

#### 1 中信地区特別支援学校の主な現状と課題

##### (1) 松本養護学校の過大化・過密化解消と多様な教育的ニーズへの対応

- ・ 高等部段階の就労支援の充実
- ・ 医療的ケアの必要な児童生徒の安全・安心な体制整備
- ・ 通学利便性を視点にした知的障がいのある児童生徒の学びの場の再配置

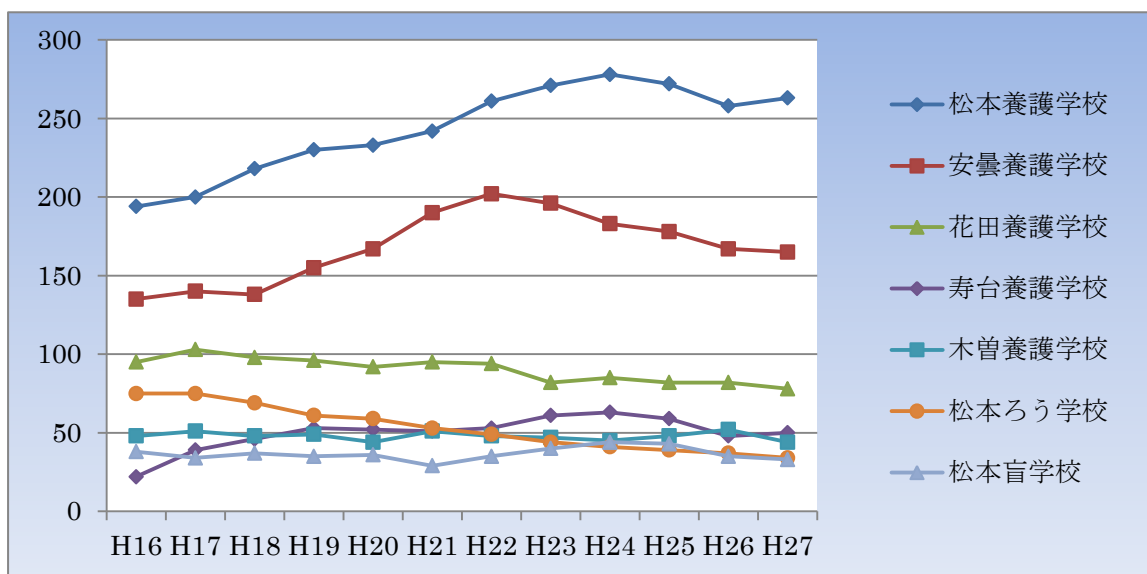
##### (2) 児童生徒数の少ない学校における課題への対応

- ・ 教科指導を行うための教員の確保
- ・ コミュニケーション力や社会性の育成のための集団規模の確保

##### (3) 特別支援学校のセンター的機能の充実

- ・ 早期からの一貫した相談支援、各障がい種に応じた相談支援の体制整備
- ・ 小中学校等における特別支援教育の充実

中信地区特別支援学校児童生徒数の推移(学校別)



#### 2 再編整備の基本方針

- 障がい種に応じた教育の専門性と機能の確保・充実を図るとともに、今ある特別支援学校の人的資源・物的資源を有効活用することにより、児童生徒の教育的ニーズに応じた再編整備を実施
- 特別支援学校間の連携の強化により、児童生徒数の少ない学校における教育を充実
- 特別支援学校の専門性やネットワークを活用し、医療や福祉などの関係機関や地域との連携強化により、早期からの一貫した相談支援、各障がい種に応じた相談支援の体制を整備  
特別支援学校と小中学校等との連携のあり方に係る検討を進めることにより小中学校等における特別支援教育を充実

### 3 具体的な対応

#### (1) 高等部段階の就労支援の充実を視点にした教育環境の整備

一般就労を目指す知的障がいのある高等部生徒の就労支援の充実を図るため、新たな学び場として、松本盲学校内に松本養護学校高等部分教室を設置

#### (2) 医療的ケアの必要な児童生徒の安全・安心な体制整備

病院との連携など医療的ケアの必要な児童生徒の安全・安心な体制整備を図るため、松本盲学校内に松本養護学校分教室重度重複障がい部門を新たに設置するとともに、寿台養護学校重度重複障がい部門における受入を拡充

#### (3) 通学利便性を視点にした学びの場の再配置

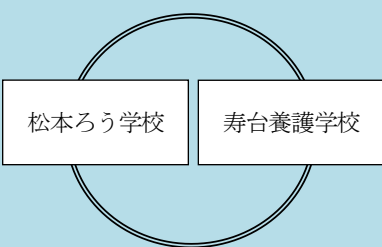
児童生徒の通学利便性の向上を図るため、寿台養護学校と松本ろう学校が隣接して松本市東部に設置されている環境を活用し、知的障がいのある児童生徒の学びの場を再配置

#### (4) 再編整備に併せた特別支援学校間の連携の強化

再編整備に併せ、児童生徒数の少ない学校における教育の充実を図るために、障がいの特性や教育課程が異なることを踏まえつつ、それぞれの特別支援学校の枠を越えた連携を促進

#### (5) センターの機能の充実と小中学校等の特別支援教育の充実

- ・各特別支援学校の専門性や学校間ネットワークを活用した総合的な相談センター機能の検討
- ・特別支援学校に在籍する児童生徒が居住地の小中学校に副次的な学籍を置いて、同年代の児童生徒とともに学ぶことができる体制づくりに向けた市町村教育委員会との連携

再編整備の概要		H27	H28	H29	H30
松本盲学校	松本養護学校高等部分教室を併設	開室準備	開室 1年	1, 2年	1, 2, 3年
	松本養護学校分教室重度重複障がい部門を併設		施設改修		
寿台養護学校	重度重複障がい部門を拡充	受入準備	拡充		
松本ろう学校 寿台養護学校	知的障がいのある児童生徒の新たな学びの場の再配置 	諸調整・実施準備			H30以降 開設

# 中信地区特別支援学校再編整備計画(案)

～学校連携・地域連携による多様な教育的ニーズへの対応～

平成27年6月  
長野県教育委員会

# 目 次

## 1 計画の策定にあたって

- (1) 長野県特別支援教育連携協議会の検討結果…………… 1
- (2) 中信地区特別支援学校再編整備計画の策定…………… 1

## 2 中信地区特別支援学校の現状と課題

- (1) 児童生徒数の推移…………… 2
- (2) 高等部段階の就労支援の充実…………… 4
- (3) 医療的ケアの必要な児童生徒の安全・安心な体制の整備…………… 4
- (4) 通学利便性の向上…………… 5
- (5) 児童生徒数の少ない学校における教育の充実…………… 6
- (6) センターの機能の充実と小中学校等における特別支援教育の充実…………… 6

## 3 再編整備の基本方針

- (1) 基本的な考え方…………… 7
- (2) 計画の進め方…………… 8

## 4 具体的な対応

- (1) 高等部段階の就労支援の充実を視点にした教育環境の整備…………… 8
- (2) 医療的ケアの必要な児童生徒の安全・安心な体制整備…………… 8
- (3) 通学利便性を視点にした学びの場の再配置…………… 9
- (4) 再編整備に併せた特別支援学校間の連携の強化…………… 9
- (5) センターの機能の充実と小中学校等における特別支援教育の充実…………… 10

## 1 計画の策定にあたって

### (1) 長野県特別支援教育連携協議会の検討結果

去る平成27年2月3日、長野県特別支援教育連携協議会（金田要司座長）において、中信地区特別支援学校のあり方について、検討結果が取りまとめられ、県教育委員会に提出されました。

同連携協議会の検討においては、松本養護学校の学校見学や中信地区特別支援学校各校の校長、同窓会及び保護者代表からの意見聴取を行うとともに、学校代表や保護者からなる作業部会でも議論を重ねながら、慎重かつ丁寧に検討が進められてきました。

### (2) 中信地区特別支援学校再編整備計画の策定

県教育委員会では、連携協議会の検討結果を受け、保護者をはじめ学校関係者や特別支援学校校長会などからの「早急な教育環境の改善」「障がい種ごとの教育の専門性の確保」を求める意見等を踏まえ、「中信地区特別支援学校再編整備計画（案）」を策定しました。

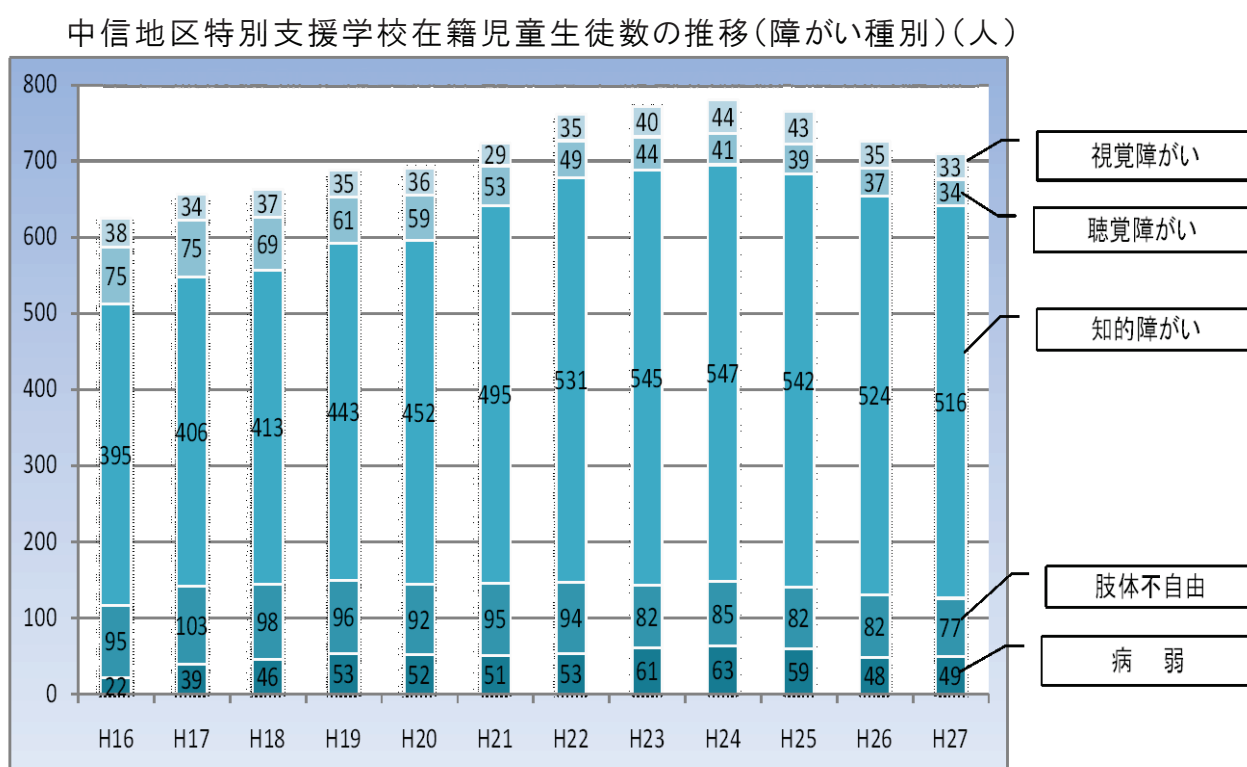
この計画の実施にあたっては、学校関係者や地域の皆様の理解と協力を得ながら、一体となって取り組んでまいります。

## 2 中信地区特別支援学校の現状と課題

### (1) 児童生徒数の推移

○ 中信地区には、5つの障がい種に対応した特別支援学校が7校あります（肢体不自由者を対象とする花田養護学校の所在地は、諏訪郡下諏訪町ですが、中信地区の児童生徒も在籍しています）。

中信地区の特別支援学校に在籍する児童生徒の総数は、増加傾向から横ばいに転じてきていますが、知的障がい特別支援学校の児童生徒数は、依然として高い水準で推移しています。



※ 各年度5月1日現在、平成27年度は4月1日現在

○ 中信地区の知的障がい特別支援学校の児童生徒数の増加に対しては、特別教室等を普通教室に転用するほか、平成14年度以降、校舎を増築して対応してきました。特に、松本養護学校では、4棟14教室を増築してきましたが、今後は教育環境の改善を急ぐ必要があります。

他方、安曇養護学校は、平成22年度に南安曇農業高校内に高等部分教室を設置して以降、児童生徒数は減少傾向にあり、過密化は緩和されつつあります。

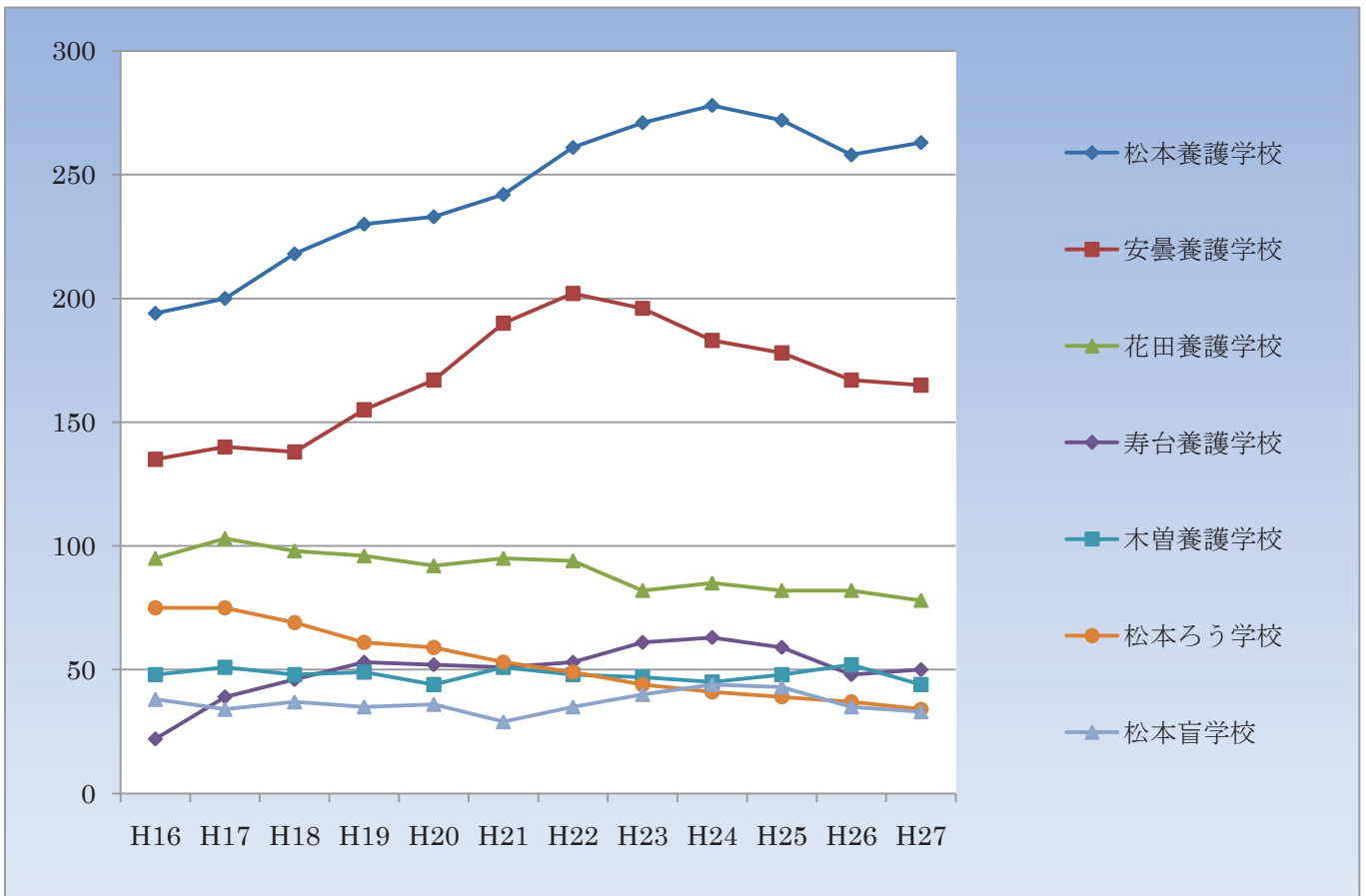
また、松本盲学校及び寿台養護学校は児童生徒数が少ない状態が継続しており、松本ろう学校は近年、減少傾向にあります。

中信地区特別支援学校在籍児童生徒数の推移(学校別)

(人)

障がい種	学校名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
視覚障がい	松本盲学校	38	34	37	35	36	29	35	40	44	43	35	33
聴覚障がい	松本ろう学校	75	75	69	61	59	53	49	44	41	39	37	34
知的障がい	松本養護学校	194	200	218	230	233	242	261	271	278	272	258	263
	信濃学園分室	18	15	9	9	8	12	14	17	22	24	26	22
	安曇養護学校	135	140	138	155	167	190	202	196	183	178	167	165
	あづみ野分教室	—	—	—	—	—	—	6	14	19	20	21	22
	木曾養護学校	48	51	48	49	44	51	48	47	45	48	52	44
	計	395	406	413	443	452	495	531	545	547	542	524	516
肢体不自由	花田養護学校	95	103	98	96	92	95	94	82	85	82	82	77
病弱	寿台養護学校	22	39	46	53	52	51	53	61	63	59	48	49
合計		625	657	663	688	691	723	762	772	780	765	726	709

※ 各年度5月1日現在、平成27年度は4月1日現在



※ 松本養護学校及び安曇養護学校は本校のみ

※ 各年度5月1日現在、平成27年度は4月1日現在

## (2) 高等部段階の就労支援の充実

- 松本養護学校では、高等部生徒の増加により、生徒のニーズに応じた作業学習<sup>\*1</sup>の場の確保や作業種の工夫が困難になってきているとともに、一人ひとりの就労ニーズに応じた高等部段階の就労支援の充実が求められています。
- また、松本養護学校では、現場実習の受入れ先が限られている中で、高等部生徒の増加により、実習期間を短く設定せざるを得ず、十分な現場実習の場や機会の確保が求められています。
- 松本盲学校及び松本ろう学校においては、視覚障がいと知的障がいを併せ有する児童生徒、聴覚障がいと知的障がいを併せ有する児童生徒が増加してきており、作業学習の充実に向けた知的障がい教育の専門性向上が求められています。

## (3) 医療的ケア<sup>\*2</sup>の必要な児童生徒の安全・安心な体制の整備

- 松本養護学校では、平成 20 年度には 9 人であった医療的ケアの必要な児童生徒が、平成 27 年度には、18 人と増加してきており、対象児童生徒の増加に対応した活動スペースの確保が求められています。

松本養護学校における医療的ケアの必要な児童生徒数の推移(人)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
児童生徒数	9	10	11	12	15	14	17	18

- また、松本養護学校から地域の基幹病院への搬送時間は、およそ 30 分～40 分程度必要であり、緊急時における病院との連携体制の強化と搬送時間の短縮が求められています。
- さらに、医療的ケアの必要な児童生徒は保護者が送迎しており、長時間の通学は、児童生徒や保護者に大きな負担となっています。

---

### \*1 作業学習

「各教科等を合わせた指導」として特別支援学校学習指導要領解説に指導の形態の一つとして位置付けられており、作業活動を学習活動の中心に据え総合的に学習するもの。働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立をめざし、生活する力を高めることをねらいとする。

### \*2 医療的ケア

急性期（症状が急激に現れる時期）における治療行為としての「医行為」とは異なり、経管栄養やたんの吸引などの日常生活に不可欠な生活援助行為。



#### (4) 通学利便性の向上

- 松本養護学校は、松本市や塩尻市の中心部から離れた松本市南西部に位置しており、公共交通機関の利便性も低いことから、児童生徒の通学に係る利便性の向上が求められています。

中信地区特別支援学校の配置



## (5) 児童生徒数の少ない学校における教育の充実

- 松本盲学校・松本ろう学校・寿台養護学校においては、児童生徒が少ないことから、配置できる教員数が限られ、各教科の指導を行うための教員の確保と専門性の向上が求められています。また、児童生徒が少ないことから、コミュニケーション力や社会性の育成のために必要な集団確保が求められています。

## (6) センターの機能<sup>\*3</sup>の充実と小中学校等における特別支援教育の充実

- 地域の小中学校等から特別支援学校に寄せられる教育相談の件数は、1校あたり年間平均 1,000 件を超えており、相談内容も多様化してきています。こうした状況に対応するためのセンター的機能の更なる充実が求められています。

特別支援学校の年間相談件数の推移(件)

年 度	H23	H24	H25
松本盲学校	1,289	1,297	1,302
松本ろう学校	2,482	2,086	2,400
松本養護学校	2,175	2,141	2,091
安曇養護学校	947	1,561	1,720
木曾養護学校	1,235	822	455
花田養護学校	624	630	695
寿台養護学校	575	533	212
合 計	9,227	9,070	8,875
1校当たりの相談件数	1,318	1,296	1,268

---

### \*3 特別支援学校のセンター的機能

特別支援学校の専門性や施設・設備を生かして、小中高等学校等の要請に応じて、障がいのある児童生徒の教育に関し必要な助言又は援助を行う、地域の特別支援教育に関するセンターとしての役割を果たす機能。

### 3 再編整備の基本方針

特別支援教育連携協議会の検討結果を踏まえ、中信地区の特別支援学校の課題に対応するため、中信地区特別支援学校の再編整備に係る基本方針を以下のとおり定めます。

#### (1) 基本的な考え方

○ 各特別支援学校において、これまで培われてきた障がい種に応じた教育の専門性と機能の確保・充実を図るとともに、今ある特別支援学校の人的資源・物的資源を有効活用することにより、児童生徒の教育的ニーズに応じた特別支援学校の再編整備を進めます。

また、併せて、各校の基礎的な環境整備を進めるなど、教育環境の向上に努めます。

○ 喫緊の課題である松本養護学校の過大化・過密化の解消については、多様な教育的ニーズのある児童生徒が広範囲から通学している現状を踏まえ、以下の3点に重点を置いた再編整備を進めます。

- ・一般就労を目指す知的障がいのある高等部生徒の就労支援の充実に向けて、地域資源を活かした作業学習を展開できる学びの場を設けます。
- ・医療的ケアの必要な児童生徒の増加や障がいの重度化への対応を考慮し、近隣病院との連携を基盤にした児童生徒の安全・安心な体制の整備を進めます。
- ・児童生徒の通学利便性の向上、通学に係る保護者の負担軽減に向けて、知的障がいのある児童生徒の学びの場の再配置を行います。

○ 再編整備に併せそれぞれの特別支援学校の枠を越えた連携を進め、児童生徒数の少ない学校における多様な教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図ります。

○ 特別支援学校の専門性やネットワークを活用し、医療や福祉、行政などの関係機関や地域との連携強化を図り、早期からの一貫した相談支援や各障がい種に応じた相談支援の体制整備を進めます。

また、特別支援学校と小中学校等との連携のあり方に係る検討を進めることにより、小中学校等における特別支援教育の充実を図ります。

## (2) 計画の進め方

再編整備計画を進めるにあたっては、喫緊の課題に早急に対応するとともに、学校関係者や保護者、同窓会及び地域の方々の理解を得ながら丁寧に進めます。

## 4 具体的な対応

### (1) 高等部段階の就労支援の充実を視点にした教育環境の整備

一般就労を目指す知的障がいのある高等部生徒の就労支援の充実を図るため、新たな学び場として、松本盲学校内に松本養護学校高等部分教室を設置します。

松本盲学校は松本市の市街地に位置しており、事業所との連携による作業学習及び現場実習の場が確保しやすい環境を活かして、高等部段階の就労支援の充実を図ります。

<期待される効果>

- 一般就労を目指す知的障がいのある高等部生徒の卒業後の就労に向け、「就労意欲の向上」、「働くための知識・技術の獲得」、「コミュニケーション力の伸長」が期待できます。
- 松本養護学校高等部、安曇養護学校高等部への入学を考えている一般就労を希望する生徒にとっての進路の選択肢が増えます。

### (2) 医療的ケアの必要な児童生徒の安全・安心な体制整備

医療的ケアの必要な児童生徒の増加に対応した教室スペースの確保、緊急時における病院との連携体制の整備、通学の負担軽減など、松本養護学校における医療的ケアの必要な児童生徒に係る諸課題に総合的に対応するため、松本盲学校内に、医療的ケアの必要な児童生徒を受け入れる松本養護学校分教室重度重複障がい部門を新たに設置します。また、寿台養護学校重度重複障がい部門における医療的ケアの必要な児童生徒の受入を拡充します。

<期待される効果>

- 松本盲学校、寿台養護学校の近隣には基幹病院があり、病院との緊急時の連携体制を整備することにより、児童生徒への安全・安心な教育環境が整備できます。
- 松本養護学校は、松本市や塩尻市の中心部から離れた松本市南西部にあることから、松本盲学校内に松本養護学校分教室重度重複障がい部門の設置、寿台養護学校重度重複障がい部門の受入拡充により、児童生徒・保護者の通学に係る負担が軽減されます。

### (3) 通学利便性を視点にした学びの場の再配置

松本養護学校は、松本市や塩尻市の中心部から離れた松本市南西部にあることから、児童生徒の通学利便性を踏まえ、寿台養護学校と松本ろう学校が隣接して松本市東部に設置されている環境を活用し、知的障がいのある児童生徒の学びの場を再配置します。

寿台養護学校については、密接な関係の中で運営してきた、隣接する中信松本病院が移転することから、移転の状況も踏まえながら、今後の学校のあり方について併せて検討します。

また、松本盲学校内に松本養護学校高等部分教室を設置することは、就労支援の充実とともに、高等部生徒の通学利便性の向上にもつながります。

<期待される効果>

- 中信地区における知的障がいのある児童生徒の新たな学びの場の再配置により、通学に係る利便性が向上します。

### (4) 再編整備に併せた特別支援学校間の連携の強化

松本盲学校内に設置される高等部分教室や知的障がいのある児童生徒の学びの場の再配置に併せ、児童生徒数の少ない学校における教育の充実を図るために、障がいの特性や教育課程が異なることを踏まえつつ、それぞれの特別支援学校の枠を越えた連携を進めていきます。

<期待される効果>

- 分教室の設置による障がい種を越えた教員相互の連携を通して、多様な教育的ニーズに応じた教育が提供されます。
- 教員の兼務や教科担当教員相互の連携により、児童生徒に専門性の高い教科指導が提供されます。
- 障がい特性や教育課程が異なることを踏まえつつ、可能な範囲で学校の枠を越えた児童生徒の交流の場を設けることにより、児童生徒の社会性の伸長が期待できます。

## (5) センターの機能の充実と小中学校等における特別支援教育の充実

- ① 早期からの一貫した相談支援、各障がい種に応じた相談支援の体制整備の推進のため、各特別支援学校の専門性や学校間のネットワークを活用し、次のような総合的な相談センター機能について、具体的な検討を進めます。
  - ・ 相談ニーズに応じて相談をつなぐ
  - ・ 医療、福祉、行政など、関係機関との連携を図る
  - ・ 地域の小中学校等の特別支援教育の専門性向上を支援する
- ② 特別支援学校に在籍する児童生徒が居住地の小中学校に副次的な学籍<sup>\*4</sup>を置いて、同年代の児童生徒とともに学ぶことができる体制づくりを市町村教育委員会と連携しながら進めます。

---

### \*4 副次的な学籍

特別支援学校の小中学部に在籍する児童生徒が、居住地域の小中学校にも副次的な学籍をもち、交流を通じて、居住地域の小中学校に通う児童生徒とのつながりの維持・継続を図る仕組み

## 中信地区特別支援学校再編整備の概要

計画の内容	
松本盲学校	<div style="display: flex;"> <div style="width: 25%; padding-right: 10px;"> <p>(1) 高等部段階の就労支援の充実を視点にした教育環境の整備</p> <p>(2) 医療的ケアの必要な児童生徒の安全・安心な体制の整備</p> </div> <div style="width: 75%;"> <div style="border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px; text-align: center;">松本盲学校</div> <div style="border: 1px dashed black; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px; text-align: center;">松本養護学校高等部分教室を併設</div> <div style="border: 1px dashed black; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px; text-align: center;">松本養護学校分教室重度重複障がい部門を併設</div> </div> </div>
寿台養護学校	<div style="display: flex;"> <div style="width: 25%; padding-right: 10px;"> <p>(2) 医療的ケアの必要な児童生徒の安全・安心な体制の整備</p> </div> <div style="width: 75%;"> <div style="border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px; text-align: center;">寿台養護学校重度重複障がい部門の受入拡充</div> </div> </div>
松本ろう学校・寿台養護学校	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">〔松本市南西部〕</div> <div style="width: 45%; text-align: center;">〔松本市東部〕</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 40px; text-align: center; padding: 5px;">松本養護学校</div> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 40px; text-align: center; padding: 5px;">松本ろう学校</div> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 40px; text-align: center; padding: 5px;">寿台養護学校</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; width: 150px; height: 60px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <div style="text-align: left; padding: 5px;">知的障がいのある児童生徒の新たな学びの場</div> </div> </div>

### 再編整備に係るスケジュール

		H27	H28	H29	H30
松本盲学校	(1) 松本養護学校 高等部分教室を 併設	開室 準備	開室 1年	1, 2年	1, 2, 3年
	(2) 松本養護学校 分教室重度重複 障がい部門を併 設		施設改修		
寿台養護学校	(2) 重度重複障 がい部門を拡充	受入 準備	拡充		
松本ろう学校 寿台養護学校	(3) 学びの場 の再配置	諸調整・実施準備			H30以降 開設

### センター機能の充実と小中学校等の特別支援教育の充実に係るスケジュール

	H27	H28以降
① センターの機能の充実	基本構想 ・諸準備	具体化
② 副次的な学籍の推進	市町村教育委員会 と連携	市町村の判断 により実施





中信地区特別支援学校再編整備計画（案）  
～学校連携・地域連携による多様な教育的ニーズへの対応～

【お問い合わせ】

長野県教育委員会事務局 特別支援教育課 指導係

---

〒380-8570（専用郵便番号）

長野県長野市南長野幅下 692-2 長野県庁 8階

電話 026-235-7456 FAX 026-235-7459

Eメール [tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp](mailto:tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp)